

第2回合同学校運営協議会（走水小学校・馬堀小学校） 会議録

1 日 時 令和6年（2024年）6月12日（水）9：30～11：15

2 場 所 馬堀小学校 2階 会議室

3 出席委員 15名

4 事務局等	教育政策課 課長	飯田 達也
	教育政策課 主査	大堀 圭輔
	教育政策課 主任	志村 洸哉
	教育政策課 担当者	松本 勇人

5 議事内容

○飯田教育政策課長（事務局）

定刻となりましたので第2回走水小学校・馬堀小学校合同学校運営協議会を始めます。

本日は、学校名について協議をしたいと思います。

4月11日の第1回合同学校運営協議会后、4月26日から5月31日の期間で、児童、生徒、保護者、地域の皆さまから、学校名の候補について、多くのご応募をいただき、総数184件のご応募をいただきました。

地域の皆さまには、ご協力いただきましたこと、この場を借りて感謝申し上げます。

また、委員の皆さまにおかれましても、時間が短い中、事前に学校名の候補をお選びいただきましてありがとうございました。

重ねてお礼申し上げます。

本日の学校名の協議の進め方について、詳細は、後ほどご説明しますが、学校名の検討、候補の協議ということで、非常にセンシティブな内容となっています。

委員の皆さまにおかれましては、さまざまな思い、感情などをお持ちになっていると思いますし、さまざまなご意見があると思います。

事務局としましても、皆さまのお気持ちは大事にしたいと考えているところですが、今後、両地域が良好な関係で統合を迎えることができるようにしたいと考えています。

本日の学校名の協議におきましても、両小学校、両地域が1つになるということを前提に是非、前向きな話し合いができればと思いますので、委員の皆さまのご協力のほど、よろしくお願いします。

それでは、次第に沿って、進行します。

まず、確認をしますが、会議録については公開したいと考えています。

会議録作成のために、録音しますが、皆さま、よろしいでしょうか。

《 各委員から異議なしの声 》

○飯田教育政策課長（事務局）

それでは次第１の（１）、学校名候補の応募状況についてです。

○大堀教育政策課主査（事務局）

学校名候補の応募状況についてご説明します。

資料１をご用意ください。

１の概要についてですが、実施期間は、令和６年４月２６日から５月３１日の間で応募を受け付けました。

対象としては、走水小学校、馬堀小学校に通学している児童、保護者、馬堀中学校に通学している生徒、走水小学校区、馬堀小学校区にお住まいの方などです。

応募の方法としては、紙媒体として児童生徒に学校から配付していただき、投票箱に投票し、回収いたしました。

地域については、町内会から回覧等により周知し、郵送等で申し込みを受け付けました。

電子媒体としてはホームページや、応募用紙の二次元コードを読み取り、電子申請システムから申し込みを受けました。

２の結果について、応募者数及び応募方法ですが、紙による応募数は８６件ございました。

電子による応募については９８件、合計１８４件の応募がございました。

その中で、学校名の候補数としては７１種類ありました。

応募者については、応募者の応募者数はそれぞれの比率が下の表のとおりとなっておりますので、ご覧いただければと思います。

次に資料２です。

応募結果の候補名一覧で、事前にも送付していますが本日もお配りしています。

１ページ目と２ページ目が総括表で、名前と応募数だけを記載したものになっており、７１候補を五十音順に並べているものです。

３ページ以降が候補名一覧の候補理由入りです。

応募時点で理由を記載していただいております、その記載内容を示したもので、こちらも五十音順に並べている資料です。

ご覧いただきながらご協議いただければと思います。

次第１、学校名候補の応募状況についての説明は以上です。

○飯田教育政策課長（事務局）

前回の合同学校運営協議会におきまして、馬堀中学校に通学している方からもご意見をいただくという話もあり、馬堀中学校の校長先生にご協力いただいて馬堀中学校の方からも応募していただいております。

また、電子による応募についてもご意見をいただき、電子による応募の方が多かったという結果もあります。

いろいろなご助言、本当にありがとうございました。

補足ではございますが、電子で募集した影響として、例えば５７番と５８番で馬堀という候補が２つあったり、６０番と６１番で馬堀走水、馬堀・走水という２候補になっているも

のがあります。

57 番と 58 番は、馬堀も堀の字の辺が違う表記でご応募いただいていたたり、60 番と 61 番については中黒の有無というところで、応募者の意図としては同じなのでしょうが、このような形で分かれているものもありますのでご了承いただきたいと思います。

それでは、ただいまの説明についてご質問等がありますか。

《 各委員から意見なし 》

○飯田教育政策課長（事務局）

次に、次第 1 の（2）、学校名候補の協議方法等についてです。

○大堀教育政策課主査（事務局）

学校名候補の協議方法等についての説明資料と資料 3 をご覧いただければと思います。

まず、本日の協議の進め方についてのご提案です。

一つ目、学校名の協議に当たっての視点について、案をご提示しています。

学校名の協議に当たっては、資料 3 の項目を、合同学校運営協議会及び教育委員会の共通の視点の案として進めたいと考えています。

項目案については教育委員会としても検討をしますが、まずは合同学校運営協議会の皆さまにご意見を伺いたいと思っています

合同学校運営協議会の場合、その後の教育委員会会議の場合でも、同じような考え方や視点で協議を進め、検討したいという趣旨からこのような形でご提示しています。

次に 2 番の学校名候補の協議方法等についてです。

（1）として、事前に委員の皆さまからご提出いただいた 5 候補の集計結果を参考に、協議したいと思います。

（2）として、事前提出の 5 候補の集計結果表、資料 4 において、各案に対する応募者からの応募理由をまとめた概要を記載しています。

こちらの理由は、案として教育委員会で作成したものです。

（3）として、この理由の概要が、教育委員会会議への合同学校運営協議会としての提案理由になると考えていますので、この理由も含めて協議したいと思います。

理由に対して何か追加等があれば、ご意見をお願いしたいと思います。

（4）として、教育委員会に提案する候補数については、可能であれば 5 候補を目安にお願いできればと思っています。

説明は以上です。

○飯田教育政策課長（事務局）

資料が多岐に渡っており、本日初めてお見せする資料もございますが、今の説明に対して、ご質問やご意見があればお願いします。

○委員

資料3に5項目出ています。

地域の方に学校名を応募してみるようお願いしたときに、何人かの方から聞かれたのが、決定事項として、走水小学校と馬堀小学校を統合するということで良いかというお話でした。

走水小学校が馬堀小学校に統合するのではない、そのような意味ではないという確認であり、そのような意味を踏まえて学校名を考えた方が良いという認識だったので、それで間違いないかを確認したいです。

○大堀教育政策課主査（事務局）

これまでもご説明しているとおり、両校が対等な関係で統合するということですので、その考え方で結構だと思います。

○委員

協議に当たる視点としては、そこも踏まえての視点になるという考え方で良いですか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

あくまで走水小学校と馬堀小学校が一緒になる、走水地域と馬堀地域が一緒になるという視点でご検討いただければと思います。

○飯田教育政策課長（事務局）

その他いかがでしょうか。

《 各委員から意見なし 》

○飯田教育政策課長（事務局）

それでは、1番から進めたいと思います。

資料3の学校名候補の協議に当たっての視点の案についてです。

- 1、一般的な読み方ができなかったり、読み方が何通りもできる学校名でないこと。
- 2、他の地域に類似の学校名がなく、誤解されることがないこと。
- 3、地理、歴史、自然環境など、その学校が持つ特色等に合っているか。
- 4、学校名をつけた理由が明確であるか。
- 5、両校の児童や地域が親しみやすく、受け入れやすい学校名か。

以上5つを記載しています。

かなり幅広にとれるような形の項目となっており、幅広に検討したいという趣旨からこのように設定しています。

追加、修正等あれば、ご意見をいただければと思います。

○委員

2の他の地域というのは、どこまでの地域でしょうか。
例えば横須賀市内といった意味ですか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

日本全国ではどこかにある可能性もありますので、近隣に、というイメージです。

○委員

資料3、4を基に、最終的な教育委員会の会議あるいは市議会でも審議されるのでしょうか。

○飯田教育政策課長（事務局）

学校名の決定というものは教育委員会が行いますが、まずはそれぞれの地域の方から合同学校運営協議会を通して、候補の案をいただきたいと思います。

その案をいただく時に、教育委員会と地域の方が同じ視点を持って学校名を決めていくことが良いだろうということで。資料3の視点という形でご提案しました。

ご質問があった市議会については、教育委員会で学校名を決めた後に、手続きとして学校設置条例の改正が必要です。

この条例については、教育委員会で決まった学校名を市議会に提出し、ご議論いただきます。

○委員

走水小学校と馬堀小学校が統合するという大前提を、資料3に加えた方が良いと思います。

一番大きな枠組みなので省略しているのだと思いますがいかがでしょうか。

○飯田教育政策課長（事務局）

走水小学校と馬堀小学校を統合するということは教育委員会でも決定している事項でございますので、至極当然と考えています。

前回の学校名を募集する案内についてのご議論の中でも、一番上に令和7年4月1日に走水小学校と馬堀小学校を統合しますということを大前提に募集をかけたと思います。

ただ、そのような記述が必要ということであれば、記載の仕方については任せていただければ、工夫できると思います。

教育委員にお見せする際も、資料3だけを見せるわけではなく、その大前提として、統合について説明しますので、その中で走水小学校と馬堀小学校を統合するという説明を資料として加えたいと思います。

○委員

馬堀小学校という案は、おそらく馬堀地区の方の提案だと思いますが、走水小学校という名前が出ていないということはどのように理解すれば良いのでしょうか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

応募結果を集計した結果なので、事務局としての見解はお答えできません。

○委員

走水小学校という名前は付けなくて良いと考えて良いのでしょうか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

そういったことはありません。

今回の学校名の検討に当たっては、まずは募集を行い、その結果に基づいて協議という進め方ですので、走水小学校という応募が無かったことに関して、事務局としては特に見解はありません。

応募があった候補の中から、この合同学校運営協議会で候補を選定していただければと考えています。

○委員

今の問いの参考になるか分かりませんが、走水小学校が馬堀小学校に統合するという意味ではない、ということを強く意識していたと思います。

走水小学校と馬堀小学校が統合するという意味で、新しい学校名を考えた方が良いという方が何人かいりました。

○飯田教育政策課長（事務局）

その他いかがでしょうか。

《 各委員から意見なし 》

○大堀教育政策課主査（事務局）

それでは、資料3についてご意見をいただきましたので、それを含めて合同学校運営協議会、教育委員会会議としての共通の視点ということで検討を進めたいと思います。

次に、2番の学校名候補の協議方法についてです。

資料4の協議に入りたいと思います。

応募した候補の中から、各委員の皆さまに事前に5候補を選んでいただいています。

未提出の方もいらっしゃいますので、投票数は記載しておりません。

ただし、太枠で囲まれた1と2については、委員の応募数が同じです。

同様に、3と4が同じ票数、5から10が同じ票数、11から22が同じ票数となっています。

この中から5候補を目安に絞っていただきたいと思います。

また、候補についての応募理由、候補の選定理由という形になると思いますが、こちらの協議もあわせてしていただければと思います。

まずは5候補程度の目安が付けられればと考えています。

資料をご覧くださいと、1と2、3と4は委員の得票数が同じということで、このあたり

までは候補として残るのではないかと考えられます。

目安として5候補とすると、もう1つか2つ追加するのかということを、5から10あたりからご相談したいと考えています。

なお、10の「未来の翼フューチャーウイングス」と22の「海来」についてご相談があります。

応募基準の一つで、国会、神奈川県議会、横須賀市議会を対象として、特定の政党、議会、会派名に似ていると思われるような校名は使用できません、と定めております。

幅広にとらえると、横須賀市にはよこすか未来会議という政党がございまして、応募基準に疑義があるかと思います。

応募状況をそのままお渡ししたかったので記載しており、委員の皆さまにおかれまして選んでいただいた方もいらっしゃるということで誠に申し訳ありませんが、その点申し添えたいと思います。

○委員

できれば5候補に絞りたいということでしたが、委員の皆さまはすごく頭を悩ませて選んだと思いますので、5候補に選ぶ必要はなくて、全て候補として上げれば良いのではないかという意見を持っています。

なおかつ、公募して71の案が出ているので、それも候補、意見として上げて良いのではないかと思います。

政党名の件は除いて、そこからまた絞る必要はないのではないかと感じます。

○委員

1から10あたりからという話がありましたが、こだわる必要はなく全体で見ても検討すればよろしいのですか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

そのとおりです。

得票数順に並べたので目安、参考としてご提案しただけなので、全部含めて絞っていただいて結構です。

○委員

5から10と11から22の票数は違いますか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

5 から 10 までが同数、11 から 22 が同数です。

全てを候補としても良いのではないかという意見がありましたが、最終的に教育委員会会議で一つを選ぶ際、これまでどのような協議がされていたのか、候補を選んだ理由等もお示しする必要があります。

そういったことから、ご協議やご意見をいただきながら、なるべく絞っていただけると、地域の皆さまのご意向を反映した上で教育委員会による決定がなされと考えています。

そのようなところもご考慮いただければと思います。

○参加者

走馬に対応するのが 20 の馬走だと思います。

これは同じような考え方だと思います。

走水馬堀と馬堀走水も同じような発想から出ているものだと思います。

馬堀だけはそのまま、走水という案はありません。

これで 5 つになり、もう少し入れるとすればひらがなのまぼりなどがあり、このあたりで意見交換をした方が分かりやすいと思います。

○委員

上にある走馬と馬堀、その次の走水馬堀と馬堀走水の一つずつ入れると、5 つにするのであればあと 1 つです。

上から順番というわけではないのですが、両校の漢字が一文字ずつ入っている、連名といった案で 5 つ埋まってしまいます。

先ほどもお話があったように、全体を候補として出しても良いのではないかと、5 つに絞らなくても良いのではないかと考えます。

全く馬堀にも走水にも縁のない新しい名前をつけるという案がこぼれてしまうと思うので、5 つに絞るのは少し難しいと思います。

○大堀教育政策課主査（事務局）

それでは、資料 4 に記載の候補からは絞れないということです。

ひらがなと漢字の両方の案が出ているものについては、一つとして考えてよろしいでしょうか。

8 はあえてひらがなにしているという応募で、少し意図が違うようにも思えますが、そのような理由が書いていないものは、同一のものとして考えるということよろしいですか。

14 と 15 の橘、16 と 17 の浜があります。

《 各委員から異論なし 》

○大堀教育政策課主査（事務局）

また、先ほどの 10 と 22 は、候補から外してよろしいでしょうか。

《 各委員から異論なし 》

○大堀教育政策課主査（事務局）

それでは、ひらがな表記の 14 と 15、16 と 17 は同じ候補とします。

8 はあえて応募者の意図があってひらがなということで、別とします。

10 と 22 は削除します。

3 と 4 は順番が逆ですが、これは意図があるので別という考え方でよろしいでしょうか。

《 各委員から異論なし 》

○大堀教育政策課主査（事務局）

それでは、5 候補には絞れませんでした、残ったものが候補ということになります。

その候補に対して、合同学校運営協議会としての理由をご協議いただきます。

事前にご説明していますように、応募理由から事務局で理由を整理、まとめたものが資料 4 ですので、この理由でよろしければご承認いただき、何か追加等があれば修正したいと思います。

まず 1 の走馬について、

- ・ 2 つの学校の一文字を入れて対等な統合であることを名前から示すため。
- ・ どちらの漢字も残すことで地域の人に馴染む名前。
- ・ 両校名の歴史的な由来を尊重すべき。それぞれの土地への愛着を感じられる。
- ・ 『馬のように元気に走りまわる子供達』、『走る馬のようにかっこいい、爽快感のイメージ』、『真っ直ぐに突き進むイメージ』を連想できる。
- ・ 未来に向かって「池月」の名馬のように力強く疾走していった欲しいという願いを込めて。
- ・ 呼び方が言いやすい。

という応募理由となっています。

これに対して、合同学校運営協議会としての理由等があれば、ご意見をいただければと思います。

○委員

応募理由についてですが、これはまとめなければいけませんか。

全部に目を通すとそれぞれに意味や思いがあります。

その理由の中から代表的なものといったように絞り込んでしまうのではなく、出てきているもの全てを皆さまに見ていただいた方が良いのではないかと思います。

○大堀教育政策課主査（事務局）

考え方をご説明します。

まず、多くの理由の応募を受けました。

その理由を踏まえて、地域の代表の方たちである合同学校運営協議会で協議を進めていただいて、協議会としての理由を合わせて教育委員会に提案することによって、教育委員会の会議で、それを踏まえて協議するというイメージです。

教育委員会での協議の際には、全ての応募理由についても資料として提示します。

全ての応募理由があって、その中で合同学校運営協議会としての協議を経て、候補と理由

が教育委員会に提出されます。

その提出された候補、理由を踏まえて、教育委員会の会議で決定するイメージを持っています。

合同学校運営協議会としての理由を協議するに当たり、ゼロからでは混乱を招く恐れがあったため、勝手ながら事務局で整理したということです。

○参加者

決定した後に、決定した理由が地域の方、市民の方、児童に伝わると思います。

その理由がポイントになると思います。

この先ずっと名前が続いていくわけで、卒業していく子どもたちもみんな背負うわけです。

自分たちも卒業してきた学校の背景といったものを含めて、思い出の中にたくさん背負って、ある種のアイデンティティのような部分が思い入れとしてあると思います。

そうした時に、学校名の理由は前向きなものでないと、子どもたちに影響が出る気がします。

理由は複数あって良いと思いますが、それを強調して、イメージの中に強く残るような部分というのは、一番センシティブに考えてほしいです。

例えば走馬という案で言えば、池月という名馬のように未来に向かって、というイメージが子どもたちにとっての大きなテーマになり、馬堀と走水の子どもたちが一緒に、新しい学校名の基、新たに築き上げていく部分だと思います。

このようなイメージがあると、力強く疾走していくようなイメージをお互いが抱けます。

仮に馬堀という名前がなくなってしまうと寂しさをおぼえる児童もいると思いますが、走水の子どもたちは新しい学校に通うイメージで、わくわくするように、先生方が一生懸命頑張ってくれていると思うので、そこに大事なポイントがあると思います。

○委員

今のご発言を受けて、13の海の子という案は個人的にはお勧めをしたいと思います。

走水、馬堀ということにとらわれず、海の側で生き生き、のびのびと子どもたちが教育を受けて育っていくようなイメージがあります。

そういった意味では、潮風、海風も良いと感じます。

走馬も良いです。

反対の馬走は少し読み方が難しいので消しても良いと思います。

○大堀教育政策課主査（事務局）

先ほどの協議から、残った案は全て候補として教育委員会に提出するという前提で話を少し進めています。

今はそれぞれの理由について協議をお願いします。

1の走馬については、理由の追加等はなしでよろしいでしょうか。

よろしければ、今記載している内容が合同学校運営協議会としての選定理由とします。

《 各委員から異論なし 》

○大堀教育政策課主査（事務局）

続いて2の馬堀です。

- ・地名と同じ学校名がわかりやすい。
 - ・中学校が側にあるので、学校名を合わせた方が良い。
 - ・学校名の変更や、所在地と関係のない校名にすると、バス停名や信号機名、民間の商店企業、災害避難時の混乱等、生徒や学区の住民だけでなく広く影響が及ぶ可能性がある。
 - ・予算等の面から、変更しない方が良い。
- といった理由です。
- 追加等ございましたらお願いします。

○参加者

小学校高学年では教科担任制が取り組まれています。

その取り組みが強くなってくると、近い将来、小中一貫教育校になる可能性もあると思います。

そうすると、小中学校が隣接する学校である浦賀、鴨居、神明などがありますが、一番隣接しているのは馬堀小学校と馬堀中学校だと思います。

そうしたときに、また新たに名前を変えるのでしょうか。

浦賀、鴨居、神明、北下浦などはみんな同じ名前です。

なので、そのようになったときを考えて、また、将来的に望洋小学校の統合も考えて、名前を改めて考えるとなるとかなりのエネルギーを使うのではないかと思いますので、馬堀で良いと思います。

○大堀教育政策課主査（事務局）

中学校が側にあるので、学校名を合わせた方が良い、という意見に近いと思いますので、例えば、将来の小中一貫教育を見据えて、といった文章を加えるという形はいかがでしょうか。

《 各委員から異論なし 》

○委員

今のお話は中学校が側にある、今後の統合を見据えてという視点だと思いますが、全体の理由の中で幾つかあったのは、馬堀小学校と走水小学校だけでなく、今後も統廃合が進んでいくだろうという話です。

横須賀だけではないのでしょうか、そのたびに学校名を検討するのは無駄だというような意見が散見されます。

これは中学校の側にあるということとは少し違う意見だと思います。

追加としてあっても良いと思います。

○大堀教育政策課主査（事務局）

望洋小学校について、検討の対象にはなっていますが、統合するかというところを今の時点では決まっています。

表現として、例えば教育環境整備の中で検討していますので、将来の検討状況も考慮した方がよいのではないかということを追加するような形でいかがでしょうか。

《 各委員から異論なし 》

○委員

小中一貫校についても、どこの敷地でやるといったことも全て含めて決まっていないですね。

○大堀教育政策課主査（事務局）

そのとおりです。

○委員

同じ敷地に学校があるイメージですが、そのようなイメージでもないというようなことですか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

近隣の敷地、建て替えの話、レッドゾーンなど、考えなければならないことがさまざまありますので、総合的に検討します。

○委員

理由の一つに予算面がありますが、実際に名称を変えたときにいくらかかるのかは確認できますか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

教育委員会としてすぐに想定できるのは校歌、校章といった部分です。

方法によって金額が変わってくるので目安はありませんが、過去の事例でいうと、桜小学校のときには校歌、校章にそれぞれ 50 万円の予算を配当しています。

○委員

その他に、例えば避難所になっているので案内も変えなければいけないし、地区の地図も全部変更しなければいけないし、関わり合ってくる変更というのは、全てお金がかかります。

学校名を変更しなければ、そのお金を別のことに使えます。

全体的にどの程度かかるのか、確認できればと思います。

○大堀教育政策課主査（事務局）

変更するのであれば、当然そういったことも含めて総合的に判断します。

本日の話としては、理由の中に、予算等の面から、変更しない方が良いという理由がありますので、そこに含めます。

市役所として考慮すべき事項ということで認識したいと思います。

○委員

あまりにも子どものことを考えていないのではないかと思いますことが多いです。

今の馬堀の状況を、いろいろな学校出身の、同じぐらいの世代の方に聞きました。

まず、子どもたちが、元気に楽しく成長していくのが大事なことです。

自分の人生の中で、小学校の6年間でどれほどの意味を持っているかということで、もちろん自分がその小学校を卒業したことは大事なことです、77歳になってみたら、そのころの思い出というのはたった6年間です。

将来的に考えたらほんの短い期間のことで、このようにいがみ合い、このような話し合いになるというのは不思議です。

子どもたちのことを考えているのかが見えにくくて、本当に学校名で子どもたちが楽しくなるのか、つまらなくなるのかを考えると、虚しい集まりだと思います。

子どもたちのことが見えない話し合いというのは、変だと思います。

○大堀教育政策課主査（事務局）

ご意見として、ありがとうございます。

本日は学校名の話なので、少し見えにくいという部分がありましたら申し訳ございません。

ただ、合同学校運営協議会は統合に向けて、それぞれの代表の方が集まって、子どもたちのためにより良い形での統合に向けて協議をする場です。

本日は校名の話ですが、今まさに両校で子どもたちの交流を進めており、子どもたちは統合に向けて前向きに進んでいる状況です。

今後それが進むことによって、この場でもご報告しながら、前向きに統合に向かって進めていければと思います。

本日は学校名の話ですが、引き続きご意見をいただきながら協議していければと思いますので、ご了解いただければと思います。

それでは2の馬堀という候補について、いただいたご意見を反映した上で合同学校運営協議会の意見としてまとめたいと思います。

続いて3と4を合わせて協議します。

3の走水馬堀は、

- ・両校の卒業生に名を残すため。共に歴史があり消すことが出来ない。
- ・走水小と馬堀という地の両方を維持して欲しい。

という理由です。

4の馬堀走水は、

・馬堀も走水も名は残してほしい。両校が合併するのに一番分かりやすい名前とし、所在地が馬堀町のため馬堀を先にした。

・地域とは全く関係ないような名称とはせず、双方共に由緒ある地名で末永く後世に伝えたい。

という理由です。

ご協議いただければと思います。

○参加者

3に両校の卒業生に名を残すため、とありますが、これは卒業生のエゴなのでいらないと思います。

卒業生のためにやっているわけではありません。

○大堀教育政策課主査（事務局）

卒業生にということに限定しなければ、両校の名を残すためといった記載もあると思いますがいかがでしょうか。

《 各委員から異論なし 》

○大堀教育政策課主査（事務局）

それでは、卒業生に、という記載を削除します。

他にはいかがでしょうか。

《 各委員から意見なし 》

○大堀教育政策課主査（事務局）

続いて5の池月です。

・走水と馬堀は、どちらもヤマトタケルと池月で繋がっている。ヤマトタケルが乗っていた馬の『池月』。馬堀の地名の由来になっている名馬であり、児童はこの名馬の伝説を在学時に学ぶ。

・小学校の名前ということで、『池月』は児童の皆さんが書きやすい漢字である。

・小学校がある地区の歴史に関係がある名前のほうが受け入れやすい。

という理由です。

こちらは伝説、歴史等に基づいたお話ですが、何か追加等ありますか。

《 各委員から意見なし 》

○大堀教育政策課主査（事務局）

続いて、6のシーサイドです。

こちらの理由が、

・お母さんが走水小の人だったので、応募しました。

ということで、応募者の理由だけになっています。

このままですと合同学校運営協議会の理由にはならないので、ご意見をお願いします。

○参加者

このままでは理由にならないから、提案理由について何か結びつくようなアイデアを出すということですか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

はい、合同学校運営協議会としての提案理由が必要になると考えています。

○参加者

走水小学校が海に隣接していて、窓を開けて下を見たらもう海であり、そのような走水小学校出身のお母さんだったから、そこからイメージしてシーサイドという話しかないと思います。

○委員

横須賀というのは両サイドを海に囲まれた地域で、米軍基地があるなど国際交流が盛んな地域です。

その中でも特に馬堀・走水地域が海辺に一番近い小学校を有する町であり、海に面した一般的な住宅が海辺に面しています。

その上で、シーサイドという英語表記は、横須賀米軍基地との関わりもある中で、横須賀の特色、馬堀の特色というものを表現したというような理由になるかと思います。

○飯田教育政策課長（事務局）

合同学校運営協議会、教育委員会における学校名候補の協議に係る視点について冒頭でご説明しました。

その中で、学校名を付けた理由が明確であるか、という視点がありますので、これはきちんと議論すべきであり、応募理由を合同学校運営協議会で整理したいと考えています。

先ほどもご意見をいただきましたが、この候補が最終的に名前になっていくことを考えれば、整理しておくべきであるということもあります。

ご意見ありがとうございます。

○委員

馬堀地区と走水地区が海に隣接していること、海辺近くにあるということでさわやかな学校のイメージ、カタカナ表記にして世界と繋がっている海のサイドにある、というイメージからの理由付けと感じました。

○委員

毎年行っているシーサイドマラソンがあるので、親しみがある気はします。

○大堀教育政策課主査（事務局）

それでは、いただいたご意見を事務局で整理したいと思います。

続いて7の潮風です。

・馬堀小学校も走水小学校も海に近く、穏やかで優しい感じの校風である。「潮」の漢字は、さんずいに朝と書くので、学校で学ぶ子どもたちも、太陽が昇るように明るく大きく暖かな心を持って成長してほしい。

・潮風はさわやかな風の意味。潮風は季節感をより一層感じさせてくれる。潮風を感じ海の音、波の音を感じ心豊かに育ってほしいと想いをこめて。

という理由です。

追加等ありますか。

《 各委員から意見なし 》

○大堀教育政策課主査（事務局）

続いて8のひらがなのまぼりです。

・平仮名表記にすることで、一年生にも優しい校名になる。柔らかい印象になるとともに、これまで親しまれている地域の名前を残すことにもなる。

というのがひらがなにした理由です。

その他の理由としては、2と同じような形だと思います。

2で既に協議しましたので、そこにひらがなの理由という形でよろしいでしょうか。

《 各委員から意見なし 》

○大堀教育政策課主査（事務局）

続いて9の馬堀海岸です。

・馬堀海岸駅が最寄り駅だから。

という理由です。

ちなみに、合同学校運営協議会として理由が付かなければ候補の削除も可能ですので、それも含めて考えていただければと思います。

○委員

安浦の駅名が県立大学に変わりました。

京急は簡単に変えるので、むしろ素敵な学校名になったときに、学校名に駅名を変えてくれるぐらいしてくれたら、町は教育面で盛り上がるのかなと思いました。

○委員

今のご意見とは逆に現状を伝えたかったのかなと思います。

最寄り駅が馬堀海岸駅で、その駅にちなんで分かりやすいからというような理由だと思います。

○委員

馬堀海岸駅が最寄り駅だからという理由になっていますが、小学校の馬堀町の道路を渡って向こう側は埋め立て地で、町名が馬堀海岸です。

走水と馬堀の住所の間をとれます。

また、駅名が馬堀海岸なので、他の地域の方はこの辺りを馬堀海岸と呼ぶ方もいらっしゃいます。

そのような意味では周知されている地名というのも、理由としてありだと思えます。

○大堀教育政策課主査（事務局）

駅、地理的な状況、皆さまに分かりやすいというようなご意見をいただきました。

事務局でまとめたと思いますけれどもよろしいでしょうか。

《 各委員から異論なし 》

○大堀教育政策課主査（事務局）

続いて11のあおぎりです。

- ・昔は、中学校と小学校の間にあおぎりの木がありシンボリックな存在であった。
- ・以前、支援級のクラスに「あおぎり学級」とつけており、なじみのある名前。あおぎりは水気が多いことから火事からも守ってくれる強いイメージもある。また広島の平和記念公園にもあり平和的なシンボルとしても知られている木。

という理由です。

追加等ありますか。

○委員

あおぎりの木は何本かあって、一番大きいシンボルと言われた木はもうありませんが、1本は今も残っています。

子どもたちには、これがシンボルツリーなんだよ、と案内しています。

○大堀教育政策課主査（事務局）

それでは、過去形から今もあるという表現に修正します。

学校行事として、あおぎり祭は今も開催していますか。

○委員

今は休止中です。

○大堀教育政策課主査（事務局）

それでは、その旨は記載せず、以上の修正でよろしいでしょうか。

《 各委員から異論なし 》

○大堀教育政策課主査（事務局）

続いて、12 の海風です。

- ・海は、馬堀、走水ともに海に近く、風が気持ちよい。
 - ・朝起きたときに東京湾からの汽笛や心地よい海風を感じられる小学校だから。
- という理由です。

○委員

馬堀に、読み方は「かいふう」ですが、海風という福祉施設があります。
そこと混同されやすいので削除した方が良いと思います。

○大堀教育政策課主査（事務局）

そうしますと、検討に当たっての視点に抵触する部分があるので、特段の理由がなければ削除してよろしいですか。

《 各委員から異論なし 》

○大堀教育政策課主査（事務局）

それでは、12 の海風は削除します。

続いて 13 の海の子です。

- ・馬堀は元々海水浴場だったため、海のすぐ近くの恵まれた環境で、子供たちが健やかに成長することを願って。
 - ・走水と馬堀の海を愛する気持ちと、子供たちにも思い出に残る名前が良い。
 - ・学校名は、走水馬堀両校に対等となる名称であるべきで、世界や未来に繋がる明るい「海」にちなんだ名称が良い。調べた限り全国にない「海の子小学校」がはつらつとしたイメージも加味された名称である。
- という理由です。
- 何かありますか。

《 各委員から意見なし 》

○大堀教育政策課主査（事務局）

続いて、14 と 15 の橘です。

- ・馬堀小学校付近の山には、柑橘系（みかん、たちばな）の木が生息していた事にちなんで。日本書紀の神話に登場する柑橘系の木、すぐに散る桜とは対比的に「永遠性・永続性」の象徴と考えられている。
 - ・横須賀最古の伝承である弟橘媛命伝説から、両校に由来があるため。
 - ・151 年の歴史がある、走水小学校の校歌にもある。
- という理由です。
- 追加等ありますか。

○委員

小学校ではありませんが、神奈川県内に橘高校や立花学園がありますが、これは関わりないということで良いでしょうか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

いかがでしょうか。

感覚の問題になってしまいますが、高校であるということ、県内というところ、理由にもありますようにこの地域に由来する話でもありますので、総合的に判断することになると思います。

○委員

他の地域なので良いのではないですか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

それでは、近隣ではないということで残します。

理由についてもよろしいですか。

《 各委員から異論なし 》

○大堀教育政策課主査（事務局）

続いて、16 と 17 で浜です。

・走水の「は」と馬堀の「ま」を取って。両校とも海岸の側、浜をイメージしやすいため。
という理由です。

いかがでしょうか。

○委員

そのままでいくしかないと思います。

○大堀教育政策課主査（事務局）

続いて、18 のひかりです。

・子供達の未来が光り輝いていて欲しい。

・海や山々が光り輝き、地域の子どもも大人も光り輝く、みんなでつくる新しい学校。子ども
の笑顔に満ちあふれて、まぶしい未来、光り輝く未来をイメージして。

という理由です。

いかがでしょうか。

《 各委員から意見なし 》

○大堀教育政策課主査（事務局）

続いて、19 の広です。

- ・ 広い(幅広い)小学校だから。

という理由です。

いかがでしょうか。

○委員

いろいろなことに興味を持って、広く知識を広げてほしいという思いを込めて、広小学校というのはどうでしょうか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

子どもたちの成長に対する思いというものを含めたご意見、ありがとうございます。

応募者の趣旨が敷地なのか、ご意見をいただいたようなことなのか分かりませんが、応募理由は別で残りますので、合同学校運営協議会としてはいただいたご意見の部分だけでよろしいでしょうか。

《 各委員から異論なし 》

○大堀教育政策課主査（事務局）

続いて、20 の馬走です。

・ 母校の校名が、一文字でもあってほしいと願いがある。両校の頭文字を取って。読み方は、まそう又はばそう。伸ばそうという成長の意も込め。

- ・ 統合した事が後々分かり易い校名が良い。

という理由です。

○委員

そのままで良いと思います。

○大堀教育政策課主査（事務局）

最後に、21 の明生です。

- ・ 二校が合流し新しい校風を作っていくため。

という理由です。

いかがでしょうか。

○委員

明るく楽しく生き生きと育ってほしいという思いを込めて、という理由を足していただければと思います。

○大堀教育政策課主査（事務局）

その他いかがでしょうか。

《 各委員から異論なし 》

○大堀教育政策課主査（事務局）

ありがとうございます。

5つではありませんでしたが、合同学校運営協議会としてある程度絞れたと思います。

それぞれの候補について、合同学校運営協議会としての理由もまとまったと思います。

本日いただいたご意見は事務局で整理し、後程確認のためにお送りします。

ただ、その際に大幅な変更はできません。

誤字等についての修正はお受けしますが、基本的には本日の協議を踏まえて、事務局で修正したいと思いますので、ご了承いただければと思います。

よろしいでしょうか。

《 各委員から異論なし 》

○飯田教育政策課長（事務局）

それでは、本日予定していた議事を終了しました。

いろいろなご意見ありがとうございます。

今後、本日の協議に基づき、教育委員会会議並びに市議会で議案、経過の報告をいたします。

その上で学校名の検討、決定をしたいと思います。

続いて、次第の2、事務連絡です。

本日の会議録についてです。

確認用の会議録が作成できましたら、お送りいたします。

内容をご確認いただき、修正がある場合には、送付文に記載の期日までに、事務局へご連絡ください。

修正しました会議録を皆さまへお送りし、ホームページ等で公開いたします。

次に、次回の第3回合同学校運営協議会に日程調整についてです。

○大堀教育政策課主査（事務局）

候補日を申し上げますので、学校も含めてご都合が悪い方は挙手をお願いします。

なお、次回は走水小学校で開催し、時間は10時からとします。

《 委員に日程確認 》

○大堀教育政策課主査（事務局）

それでは、7月24日水曜日の10時から走水小学校で開催します。

○飯田教育政策課長（事務局）

改めて会場となる教室等を記載した開催通知を送付します、よろしくお願いいたします。

委員の皆さま、ありがとうございました。

以上で第2回走水小学校・馬堀小学校合同学校運営協議会を終了します。